学校番号	1004

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	教育音楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教育音楽は、将来教育関係の仕事に就きたいと考えている人を主として、音楽理論（音符を読んだり楽譜に書かれた様々な記号を読み取れるようにする）・ソルフェージュ（視唱・視奏・聴音など）・器楽等の力を身につける授業です。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや確認テスト、実技テストで評価します。
・個人やグループで相互的に発表しあい、お互いを評価しあう活動を取り入れます。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成する。
【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。音楽教育に必要な歌唱、器楽演奏、音楽理論に関する知識や技術を習得する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	曲にふさわしい発声で表現豊かに歌おう	【歌唱】 ・コンコーネ ・童謡 ・J-POP	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取
	歌いながらピアノの演奏を使用	【器楽】 ・簡単な童謡のピアノ伴奏	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な,他者との調和を意識して演奏する技能,及び器楽の表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり,及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち,主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取
2	発音や発声を工夫してアンサンブルを作ろう	【歌唱】 ・季節の歌 ・行事の歌	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート グループワーク 観察	観察 演奏の聴取

	器楽コンサートを楽しもう	【歌唱】 【器楽】 【創作】 ・自由曲音楽発表会	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な,他者との調和を意識して演奏する技能,及び器楽アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり,及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち,主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	発表 グループワーク 振り返りレポート	観察 発表 ワークシート
	劇音楽を鑑賞しよう	【鑑賞】 劇音楽鑑賞	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景,他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに,曲や演奏に対する評価とその根拠について考え,音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景,他の芸術との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察 レポート
3	季節の曲(卒業シーズンにふさわしい曲)を合唱しよう	【歌唱】 ・卒業の歌	a：【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な,他者との調和を意識して歌う技能，及び合唱やヴォイス・アンサンブルなどの表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c：曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や，合唱やヴォイス・アンサンブルなどの表現形態の特徴や各パートの役割に関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度